

# 「こうのとりの」(HTV)5号機の搭載物変更について



報告内容：平成27年6月28日SpX-7の打上げ失敗により失われた搭載物のうち、予備品等の再打上げの調整を行った結果、搭載物に変更が生じたので、ご報告する。

なお、ステーションへの補給機は世界で4機種しかなく、米露の3機種に不具合が起こっている折、物資の緊急輸送にえられる「こうのとりの」と日本チームの対応力に期待がかけられている。

(写真は7月29日種子島空港に到着したNASA搭載品)



平成27年 7月31日  
国立研究開発法人  
宇宙航空研究開発機構  
有人宇宙技術部門

説明者
有人宇宙技術部門 有人システム安全・ミッション保証室
室長 上森 規光

## 1. 与圧部搭載物の変更について

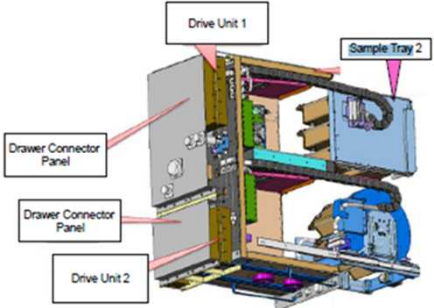
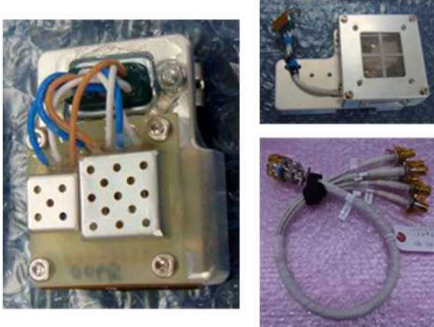
1バッグは、500×425×248mm

		当初計画時	最新 (SpX-7事故後)	変更事項
Nominal Cargo	JAXA搭載量	24.5 バッグ分	24.5 バッグ分	(4月中に搭載済み)
	NASA搭載量	117 バッグ分	117 バッグ分	
Late Cargo 8/4～13に 搭載	JAXA搭載量	12 バッグ分	12 バッグ分	・割当は変更なし ・ <u>バッグ内に6品目</u> を追加 (添付-1)
	NASA搭載量	<b>30.5</b> バッグ分	<b>36.5</b> バッグ分	・ <u>割当を6バッグ増加。</u> ・ <u>36.5バッグ内で</u> <u>入替え調整</u>
合計		184 バッグ分 (5,842kg)	190 バッグ分 (6,057kg)※1	



※1: 上記質量はHTV打上げ能力のマージンの範囲内  
(6,200kg以下)であり、推薬量の変更はない。

2. 上記の搭載物に関しては、8月5日までに全ての安全認証書が揃う予定であり、平成27年6月9日に調査・安全小委員会へ報告したHTVに係る安全審査の結果に影響を与えることは無い。

## 追加したJAXA搭載物リスト (1/2)

No	名称	質量・寸法・外観等
1	CBEF ALT (Sample Tray 2)	<p>現在JEMにて運用されている細胞培養装置(CBEF)に対する代替用サンプルトレイ</p> 
2	CBEF ORU (Sensors and Video Cable)	<p>現在JEMにて運用されている細胞培養装置(CBEF)に対する改良版センサ(CO2、温湿度計)とビデオケーブル</p> 
3	BNC-LEMO Conversion Video Cable	<p>細胞培養装置(CBEF)から出力されるビデオ信号を伝送するための中継ケーブル</p>

## 追加したJAXA搭載物リスト (2/2)

No	名称	質量・寸法・外観等
4	Bio PADLES for Stem Cell	<p>実験中の放射線量計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質量; 約24g</li> <li>・寸法; 46 × 46 × 9 mm</li> </ul> 
5	宇宙飛行士生活用品	<p>油井宇宙飛行士のシャツ、爪切り、歯ブラシなど</p> 
6	シートラック取付型固縛キット (J-SAT KIT)	<p>実験ラック(MSPR2)前面に追加6バック分を搭載するための固縛キット。バックル付ベルト等で構成。</p> 